

桃生中

震災の被害状況調べ発信



これがイチオシ

豊作喜ぶ踊り運動会で

桃生町には「寺崎のはねこ踊り」という伝統芸能があります。江戸時代、凶作に苦しんだ人々が、久しぶりに大豊作に恵まれたことを喜び、神社でお礼参りをした時に面白おかしく踊ったことが起源とされています。現在は宮城県指定民俗文化財に指定されていて、毎年9月に開催される「桃生ふれあい祭り」などで盛大に披露されます。また、桃生中学校の運動会では、寺崎はねこ踊り保存会の方々に来ていただき、お囃子と共にはねこ踊りを踊ります。

学校名 石巻市立桃生中学校
所在地 石巻市桃生町寺崎植立20
創立 1969年
電話 0225(76)4122
校長 和泉 千佳子
生徒 156人

桃生中学校は、命の大切さを学ぶ学習を年間を通して行っており、防災学習に力を入れてい...
昨年度は東日本大震災の遺構に行き、学んだことや感じたことを新聞やスライドにまとめ、校内外へ発信しました。
1年生は石巻市門脇小学校、2年生は気仙沼向洋高等学校、3年生は石巻市大川小学校で語り部の方からお話を聞きました。被害状況や地震・津波の恐ろしさについて学び、備えることの大切さを改めて感じました。まとめ活動として市総

大切な命 防災学習に力

合防災訓練の際、2・3年生は地域の方々や小学生に向けた発表会を、1年生は防災グッズの作成を実演しました。「時が止まった教室」「逃げる！その声の大切さ」などの言葉から、見学で感じたことを互いに学び合うことができました。
さらに1年生は、阪神淡路大震災を経験した兵庫県高砂市立竜山中学校と大阪府泉南市立西信達中学校との交流授業を行いました。
これからも自分たちで調べ、地域全体に広めていきたいと思っています。

石巻市総合防災訓練での生徒たち。防災グッズを作成(右上)、震災遺構のまとめを発表(右下)。兵庫県と大阪府の2中学校と交流学習する生徒(左の上下)



編集委員 佐藤空、志田大和、高橋一颯 (3年) 阿部つむぎ (2年)
指導教員 後藤紗英

わが校わがまち スクール通信



次回は 増田西小 (名取市) 柳生中 (仙台市)

遊び通じ学年超え交流

岩切小



これがイチオシ

曲がりネギ育てて収穫

3年生では、主に総合的な学習の時間に岩切地区発祥の曲がりネギを収穫する活動をしています。地域ボランティアの赤間さんに特徴や成長の仕方などを教えてもらいながら実際に校地内の畑で育てています。

では、なぜ曲がりネギというのでしょうか。成長の過程でわざと横に寝かせて日光を当てると、曲がるように成長するからです。甘みもぬめりも強いのが特徴です。活動を通して大勢の人と協力し、心も近づき、さらに興味が湧いてよく知りたくなりました。

学校名 仙台市立岩切小学校
所在地 仙台市宮城野区岩切今市東1の2
創立 1873年
電話 022(255)8012
校長 佐々木 宏
児童 1079人

にこにこタイム楽しく

岩切小学校は、全校児童の人数が千人を超える小学校です。
岩切小では人数の多さを生かし、「にこにこタイム」という活動を行っています。
学年と下学年が一緒に遊んで交流を深めるのが目的で、朝の活動の時間に行っています。
学年は下学年を楽しませるために平等に遊ぶことができる企画を考えたり、遊びで使うものを一つ一つ手作りしたりしています。
活動内容について、インタビューしてみました。
上学年は校庭使用の日は鬼ごっこ、室内で楽しむ日は手作りの名前神経衰弱などの企画を考えたそうです。
下学年は「上学年の人が考えた企画は面白く、毎回楽しみにしている」と言っていました。
「にこにこタイム」で関係が深まり、この時間以外も笑顔でいさつをし合ったり、休み時間も遊んだりしている姿が見られました。
「にこにこタイム」を行うことで、学校全体の絆が強まっています。
これからも引き続き、さらに仲の良い学校になっていってほしいです。



にこにこタイムで交流する子どもたち

編集委員 川前美衡、小林海心、斎藤煉 (3月卒業、中学1年) 阿部佑誠、押田美楓、鷹楓月 (6年)
指導教員 小島ゆい、吉田史、有馬文